

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科：地理歴史

科目：歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 A～G組

教科担当者：

使用教科書：（『明解歴史総合』帝国書院）

教科の目標：「地理歴史」の目標

【知識及び技能】	現代世界の地理的特色と日本及び世界の歴史の展開について、理解を深めるとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、現代社会に見られる様々な課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び国際社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、現代社会が抱える課題を主体的に解決しようと取り組む。

科目の目標：「歴史総合」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本を含む世界の国々の歴史や文化の多様性と現代社会につながる諸地域の歴史的課題への取り組みなどを理解するとともに、インターネットなどを用いた諸資料からの情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技術を身につける。	近代以降の日本と世界の歴史的な事象の意味や意義、諸地域の歴史的な特色や相互の関連を政治・社会・文化面などの相互関連、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多面的・多角的に考察し、歴史的な課題の解決に向けて構想したことや考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	近代・現代の歴史に関わる諸事象について、よりよいグローバル社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国際社会で通用する日本国民としての自覚、我が国の歴史と文化に対する愛情とともに、世界の諸地域の多様な歴史と文化、民族性を尊重することの大切さについて自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 歴史の扉 【知識及び技能】身の回りの事象と世界の歴史が繋がっていることを理解すること。近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現すること。資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】インターネットなどを活用し、国際社会の歴史的課題を主体的に追究し、解決する。中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組むこと。	・第1章「歴史と私たち：私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結びつきがあるのか」 ・第2章「歴史の特質と資料：資料の取り扱いと歴史叙述とは何かを考えることを通して、私たちは過去の状況をどのように知り、伝えてきたのかを学ぶ」 ・序章「近代化への問い：近代化の意味・意義とは何か：情報収集の一つの手段として、一人1台端末を活用する」	【知識・技能】身の回りの事象と世界の歴史が繋がっていることを理解している。近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中学校までの学習を踏まえ、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。文献・絵画などの歴史における史・資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの正しい読み解き方について理解している。	○	○	○	4
B 近代化と私たち(1) 【知識及び技能】近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けること。18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易、及び日本への影響について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現すること。「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組むこと。18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究すること。	・1章「江戸時代の日本と結び付く世界：18世紀の日本やアジア・ヨーロッパは、それぞれどのように結びついていたのか」 ①江戸時代の日本と世界は、どのように結び付いていたのか。②18世紀の中国(清)は、アジア・ヨーロッパとどのように結び付いていたのか。③17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのか。 ・情報収集の一つの手段として、一人1台端末を活用する。	【知識・技能】近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易、及び日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組んでいる。18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1  
学  
期

<p>C 近代化と私たち(2)</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解する。国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し，自分の言葉で表現する。国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧と帝国主義が人類に与えた変化について考察し，自分の言葉で表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について，解決策を追究する。国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について，追究する。</p>	<p>・ 2章「欧米諸国における近代化：欧米で起きた市民革命・産業革命によって、社会はどのように変化したか」①イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのか。②フランス革命によって、政治と社会はどのように変化したのか。③フランス革命は、当時のヨーロッパやアメリカ大陸の政治にどのような影響を与えたか。④産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたか。⑤欧米による世界市場の形成は、世界をどのように変えたか。</p> <p>・ 3章「近代化の進展と国民国家の形成：近代化が進展する中で、欧米諸国はどのような国家を形成したか」①1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったか。②イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家を形成していったか。③アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したか。④第二次産業革命後、世界規模でどのような変化があったか。</p> <p>・ 一人1台端末の活用 等</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し，自分の言葉で表現している。国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧と帝国主義が人類に与えた変化について考察し，自分の言葉で表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について，解決策を追究しようとしている。国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について，追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>D 近代化と私たち(3)</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解する。明治維新とその後日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> アジア諸国の変容を比較したり関連付けて考察し，「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現すること。明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，自分の言葉で表現すること。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し，追究する。明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し，解決策を追究する。</p>	<p>・ 4章「アジア諸国の動揺と日本の開国：近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したか」①イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたか。②どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったか。③中国(清)は、ヨーロッパ諸国の進出に対し、どのように対応したか。④日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したか。⑤日本における近代化の特色は何か。</p> <p>・ 5章「近代化が進む日本と東アジア：日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったか」①明治維新によって、日本はどのような国家に変化したか。②日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めたか。③近代化の進展により、日本・中国(清)・朝鮮の国際関係はどのように変化したか。④日清戦争後、日本や中国(清)ではどのような変化があったか。⑤日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたか。</p> <p>・ 一人1台端末の活用 等</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。明治維新とその後日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> アジア諸国の変容を比較したり関連付けてりして考察し，「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，自分の言葉で表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し，追究しようとしている。明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し，解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

<p>E 国際秩序の変化や大衆化と私たち(1)</p> <p>【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化に関わる史・資料を読み解く技能を身に付ける。国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現すること。第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現すること。新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返して洗練させていくなど、粘り強く取り組む。勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究する。ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究する。</p>	<p>・序章「国際秩序の変化や大衆化への問い」 ・1章「第一次世界大戦と日本の対応：第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのか」①ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだか。②世界の国々とその国民は、どのように第一次世界大戦に関わったか。③どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったか。 ・2章「国際協調と大衆社会の広がり：欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったか」①第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたか。②第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起きたか。③第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたか。④第二次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだったか。⑤日本では、どのように大衆社会が形成されていったか。 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 国際秩序の変化や大衆化に関わる史・資料を読み解く技能を身に付けている。国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返して洗練させていくなど、粘り強く取り組んでいる。勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>
<p>F 国際秩序の変化や大衆化と私たち(2)</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終結に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現すること。国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究する。大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究する。</p>	<p>ん</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終結に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>

3 学 期	G グローバル化と私たち(1)	<p>・序章「グローバル化への問い：グローバル化とは何か」</p> <p>・1章「冷戦で揺れる世界と日本：冷戦が展開する中で、日本や世界の国々はどのような選択をしたのか」①アメリカとソ連の緊張と緩和は、国際社会にどのような影響を与えたか。②日本は、どのような国内外の状況の中で高度経済成長を遂げたか。③冷戦激化の下で、アジア・アフリカの脱植民地化はどのように展開したか。④中東問題が世界中に影響を与えたのはなぜか。</p> <p>・2章「多様化する世界：冷戦が展開される中で、日本や世界の国々はどのような経済成長を遂げたか」①1960～70年代のアメリカが抱えた問題は、国際社会にどのような影響を与えたか。②1960～70年代の日本が抱えた国内外の問題とは何か。③東アジア・東南アジアの国々が経済成長に成功したのはなぜか。④イラン=イスラム革命は、世界にどのような影響を与えたか。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>グローバル化に関わる史・資料を読み解く技能を身に付けている。55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組んでいる。冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	H グローバル化と私たち(2)	<p>・3章「グローバル化の中の世界と日本：例施栓終結後、グローバル化は世界をどのように変えたか」①冷戦体制の終結は、世界の構造をどのように変化させたか。②冷戦終結は、アジア諸国にどのような影響を与えたか。③アメリカが中東情勢に関与し続けるのはなぜか。④国際環境の変化で、日本の政治や社会はどのように変化したか。⑤グローバル化の急速な進展により、国際社会はどのように変わってきたか。⑥グローバル化という視点からとらえた現代の諸課題は何か。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>冷戦終結の過程とグローバル化の特質と冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。冷戦終結の過程で、世界各地で民主化の動きが高まったこと、またその反動について理解している。冷戦以前から続く中東の状況やアメリカの関与、戦乱に伴う難民問題について理解している。冷戦終結後、日本の国際的役割と国内の政治情勢が変化したことや、現在の国際秩序がグローバル化の進展の中で形成されたものであることを理解している。グローバル化に伴う多極化や反グローバル化への対応、多様性の容認などを自らの問題として理解している。グローバル化についてメリットとデメリットについてまとめ、その特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進展したりするのかについて考察し、表現している。第二次世界大戦終結以降、民主化がどのように推移したかについて地域を選択して考察し、表現している。「対テロ戦争」が自衛戦争と言えるかについて考察し、表現している。グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現している。グローバル化のデメリットを一つ選択し、その解決策について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>歴史を読み解く5つの視点を踏まえ、これまで学習した内容から現代的な諸課題を一つ取り上げて、自ら設定した問いに対し、学習して身に付けた知識や教科書、その他の史資料を活用して、課題の解決のために、主体的・計画的に探究学習に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
定期 考 査				○	○	1	78
							合計